

健康経営を深化

工場・倉庫で材料や製品を保管する棚（ラック）を製造するゴーリキ（本社伊勢市大湊町1125の10、強力雄社長、電話0596・36・2104）は、働きやすい職場環境の整備に力を入れ、健康経営を深化させている。2024年6月期は、育休取得者が所属している職場のメンバーに対する「育休応援手当」やフレックスタイム制を導入した。ワークライフバランスと社員の健康を高める施策を推進。「健康経営優良法人2024（中小規模法人部門）」では、上位500法人の「ブライツ500」に3年連続で認定を受けた。

（四日市・梶田宏行）

製品保管ラック製造の ゴーリキ

昨年夏に導入した育休応援手当は、育休で休む社員が所属する職場の従業員が対象。育休中は一律で月額3千円を支給する。

一方、フレックスタイムは今春導入した。全社員が勤務するコアタイムを午前10時から午後3時までと

10時から午後3時までと、15分刻みで就業時間を選択できる。同社では以前から、各社員の勤務時間や仕事の予定などを情報共有できるシステムを活用し、社員の多能工化も推進しているため、業務に支障を来

すことなく運用できている。

健康面の施策では、社員の体力増進に取り組んでいる。今年3月には本社近隣の公園で鬼ごっこを開いたほか、6月は体への負荷が強めのラジオ体操を行う計画。7月開催予定の体力測定を兼ねた運動会に向けて、社員の体づくりをサポートしている。

同社は健康宣言を行った

育休取得者がいる職場に手当



今年と過去のブライツ500の認定証
を手にする強力社長（右）ら

17年以降、健康経営に力を入れてきた。健康経営推進室や社員が自主的に職場環境の向上などに取り組む委員会制度を設けるなど、健康経営を強力に推進しているための社内基盤が強固。

健康経営優良法人の認定は21年から4年連続、ブライツ500は22年から3年連続。3年連続のブライツ500認定は、三重県南勢地域では唯一だ。

7月には会社負担で全社員を対象にした歯科検診を行う計画のほか、新たな休暇制度の導入を検討している。強力社長は「健康経営につながる取り組みを今後強化していく」と話している。